



吉浦宮花町から出される「お船」

五穀豊穡と豊漁を願い、各地区から出される神輿やお船が神社に向かい、鬼や「ばくろろう」(馬喰・馬・牛の仲買人)が竹棒をもって道を作っていく様子に、留学生は見入っていた。また、「そーりやさげた」の掛け声とともに、「ちようさい」と呼ばれるだんじりや神輿(みこし)、漁師のお船をかついで、行き来する地域住民の一生懸命な姿に、留学生も感動していた。

地域住民も、世界各国の留学生が日本の伝統的祭りを楽しみつづ、日本文化について学ぶ姿を暖かく見守っていた。日本に到着して間もないHUSA交換留学生が、地域住民が用意した鉢巻をつけ、わが国の伝統的祭りを満喫する一日となった。



日本の地域に残る伝統的祭りの雰囲気を経験

### 広島大短期プログラム留学生が地域のお祭りを見学

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生38人(北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジア出身)が、呉市の吉浦八幡神社に伝わる「かに祭り」(秋大祭)を見学した。留学生は去る9月26日に広島大に到着したばかり。広島大国際センターの恒松直美准教授がHUSA交換留学生を呉市吉浦かに祭り見学に引率するのは、今年で14回目。日本に来たばかりの留学生に毎年大好

評の行事となっている。



活発な討議が行われたパネルディスカッション

延べ1000人の来場者で埋め尽くされた会場

ベトナムは、メコン川流域の深刻な水問題を抱え、数カ月前には、製鉄所からの排水による海洋汚染が問題になったこともあり、パネルセッションでは公害の社会的責任に関して活発な討議が行われた。

現地の大手テレビ局の取材も行われるなど、現地メディアの関心も高かった。最後にホーチミン市校のルーク日本学部長から、広島大との協働に関して期待が述べられ、今後も継続することを関係者間で確認した。



THE 1st SEMINAR ON ENVIRONMENT FOR RESOLUTION OF ENVIRONMENTAL PROBLEMS August 27 10:00 - 16:05 (Sat.) 2016

ベトナムで環境セミナーを開催(広島大)

広島大学は、このほどベトナム・ホーチミン市内のベトナム国家大学ホーチミン市校で、復建調査設計(株)ベトナム国家大学ホーチミン校、広島県の産学官共同で「第1回ベトナム環境セミナー」を開催した。

### ベトナムで環境セミナーを開催(広島大)

復建の向井雅司取締役執行役員、広島大の橋本律男産学・地域連携センター長の開会挨拶に続き、広島大大学院工学研究院の大橋晶良教授、ベトナム国家大ホーチミン市校のブイ・スワン・タイン教授、水利大のファン・バン・ソン教授、フツケン・ミナミの南海泰平氏、ひろしま環境ビジネス推進協議会の宝月章彦氏が登壇。約1000人の参加者が講演に熱心に聴き入っていた。

同窓会の設立役員が紹介され、設立会長にはカンボジア首相府最高国家経済評議員シニア・アドバイザーのメイカリアン氏(経済学研究所1984年修了)が就任した。

さらに、同窓会発足の理念となる設立宣言

学生250名を対象に行われ、RUPPの福利厚生側の側面での支援に協力した。

今回の同窓会発足は、神戸大の国際戦略とも相まって、神戸大とカンボジアの人的交流が一層広く進み、海外ネットワークの構築とグローバル人材育成に関わる教育・研究交流を一層促進させる上で大いに有意義な機会となった。